

令和2年第3回区づくり推進横浜市会議員会議（南区）

令和2年9月15日（火） 11:00～

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議題

（1）令和元年度 南区個性ある区づくり推進費の決算について
【資料1】・・・ P 1

（2）令和2年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況及び事業見直しについて
【資料2】・・・ P24

（3）令和3年度南区個性ある区づくり推進費の
編成に向けての考え方について
【資料3】・・・ P47

（4）その他

5 閉 会

区づくり推進横浜市会議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月25日

最近改正 平成25年 8月 9日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市会議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説 明 員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

(1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。

(2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。

(3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。

(4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事 務 等

(1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。

(2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。

(3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

資料 1

(1) 令和元年度南区個性ある区づくり推進費の決算について

令和元年度 南区個性ある区づくり推進費 決算書

1 自主企画事業費

(単位：円)

区分	事業内容	予算額	決算額	差引
減災	みなみ減災推進事業<重>	16,928,000	17,979,364	▲ 1,051,364
健やか	健やか元気応援事業<重>	14,430,000	13,281,464	1,148,536
	区民スポーツ支援事業<重> ほか2事業			
賑わい	南区あったかいふるさとまつり事業<重>	33,350,000	32,304,505	1,045,495
	みなみ多文化共生推進事業<重> ほか4事業			
子ども	すこやか子育て支援事業<重>	7,691,000	7,582,881	108,119
	青少年育成事業			
地域の力	地域の力応援事業<重>	4,665,000	3,296,636	1,368,364
着実に取り組む事業	地域で守ろう私の安全安心事業	21,947,000	21,989,623	▲ 42,623
	みなみチャレンジごみ減量事業 ほか4事業			
合 計 (20事業)		99,011,000	96,434,473	2,576,527

(事業名の<重>は重点事業)

2 統合事務事業費

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引
統合事務費	32,622,000	36,139,745	▲3,517,745
統合事業費	14,196,000	13,993,257	202,743
広報よこはま南区版発行事業	6,722,000	7,139,391	▲417,391
専門相談事業	1,461,000	1,395,760	65,240
スポーツ推進委員支援事業	2,585,000	2,432,430	152,570
青少年指導員事業	2,095,000	1,786,476	308,524
クリーンタウン事業	288,000	268,000	20,000
消費生活推進員事業	295,000	221,200	73,800
学校・家庭・地域連携事業	750,000	750,000	-
合 計	46,818,000	50,133,002	▲3,315,002

3 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	予算額	決算額	差引
区庁舎等	区庁舎等管理運営費	142,717,000	130,084,462	12,632,538
土木事務所	土木事務所管理運営費	4,460,000	4,571,412	▲111,412
公会堂	公会堂管理運営費	39,785,000	38,872,538	912,462
地区センター・ スポーツ会館	地区センター（4施設）、スポーツ会館指定管理者 委託料	159,525,000	160,545,103	▲1,020,103
青少年施設	こどもログハウス指定管理者委託料	7,893,000	7,893,000	-
老人福祉センター	老人福祉センター指定管理者委託料	28,464,000	28,463,000	1,000
コミュニティハウス	指定管理者委託料（5施設）、区民利用施設運営委 託料（2施設）	89,913,000	89,949,256	▲36,256
スポーツセンター	スポーツセンター指定管理者委託料	37,952,000	37,950,000	2,000
みなみ市民活動・多文化 共生ラウンジ	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費	29,594,000	30,106,413	▲512,413
その他施設（広場・遊び 場）	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等 管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等補助金	1,341,000	4,634,870	▲3,293,870
区庁舎・区民利用施設修 繕費	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費	7,500,000	3,516,265	3,983,735
合 計		549,144,000	536,586,319	12,557,681

南区個性ある区づくり推進費 総計	694,973,000	683,153,794	11,819,206
------------------	-------------	-------------	------------

令和元年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

令和元年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費については、「減災」「健やか」「賑わい」「こども」の4つを重点に位置付けるとともに、これから先も「地域の力」を取組の核と位置付け、「地域の力」をより高められるよう予算編成を進めます。

取組にあたっては、部・課を超えた「横のつながり」による区役所の更なる一体化を進め、効率的・効果的に事業を実施し、地域の皆さまと「共感と信頼」をはぐくみながら「あったかい」と感じていただける南区を目指します。

重点分野1 減災

大地震、土砂災害等で大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助対策をはじめ、共助力量を支援し、地域防災力を充実させます。

【重点事業】 みなみ減災推進事業

重点分野2 健やか

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、区民のスポーツへの関心を高めます。

【重点事業】 健やか元気応援事業
 【重点事業】 いきいきシニア健康応援事業
 認知症早期対応・見守り支援事業
 【重点事業】 区民スポーツ支援事業
 【再掲】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野3 賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財、大岡川プロムナードや桜の名所など魅力ある資源を生かし、市内外からの誘客に取り組めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

【重点事業】 南区あったかいふるさとまつり事業
 魅力発信・賑わいづくり事業
 みなみ商店街等活性化事業
 区民文化活動支援事業
 【重点事業】 みなみ多文化共生推進事業
 【重点事業】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野4 こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどによる子育て支援や孤立防止、青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

【重点事業】 すこやか子育て支援事業
 青少年育成事業
 【再掲】 みなみのみらい計画推進事業
 【再掲】 みなみ多文化共生推進事業
 【再掲】 区民スポーツ支援事業

「地域の力」

地域の実情に応じて地域活動を支援することで、地域の力を応援し、地域の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組めます。

『「地域の力」応援事業』 = 地域の力を応援するための基礎となる事業

地区別情報収集・提供事業

地域連携情報発信事業

コーディネーター派遣事業

「地域の力」を応援する視点での事業の工夫 (23事業) 地域

担い手後継者の確保、若い層の地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いつなげる場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し

着実に取り組む事業

区庁舎環境整備等事業

広報広聴事業

みなみチャレンジごみ減量事業

地域住民との連絡調整事業

地域で守ろう私の安全安心事業

食とくらしの衛生支援事業

令和元年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行実績

* 「事業名」欄の《重点》は重点事業です。

新規 令和元年度新規事業

地域 「地域の力」を応援する視点での事業の工夫

1 減災

1 みなみ減災推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引
	1,692万8千円	1,797万9千円	△105万1千円

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上のための防災啓発事業や自助共助支援事業、「共助」の取組である災害時要援護者支援事業、そして災害対応力の向上のための「公助」の取組である区災害対策本部及び災害医療体制の強化に取り組みました。

【自助】

(1) 防災啓発事業

- ・区民の自助意識向上のため、「みなみく防災フェスタ」を開催しました。(2月)
- ・自治会・町内会等の防災・共助意識向上のため「ご近助講座」を開催しました。(17回)
- ・防災・共助活動の担い手であることの意識付けのため「中学生講座」を開催しました。(7月・蒔田中、9月・六ツ川中)
- ・小中学生等の若年層の防災意識を高めるため、市民防災センターのバスツアーを実施し、送迎の車中で拠点の取組みを紹介して、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。(7～12月・5小中学校(蒔田中、太田小、永田小、六つ川台小、日枝小)) **新規** **地域**
- ・地域での工夫した取組等を紹介するリーフレットを作成し、防災意識の向上を図りました。(～10月) **新規**

(2) 自助共助支援事業

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムの設置の一部を助成しました。
 - ア 家具・・・件数：52件(4～11月)
 - 補助対象額：8,000円<前年同>
 - 補助率：重点対策地域 10分の9<前年同> 一般地域 3分の2<前年同>
 - イ ガラス・・・件数：13件(8～11月)
 - 補助対象額：15,000円<前年同>
 - 補助率：3分の2<前年同>
- ・地震、土砂災害等の被害想定区域などをまとめた防災マップを作成し、全戸配布しました。(～9月) **新規**
- ・区民向け防災啓発用冊子を震災と風水害を一つにまとめた内容で更新しました。(～3月)
- ・南区防災計画(震災対策編)を改訂しました。(9月) **新規**

【共助】

(3) 災害時要援護者取組支援事業

- ・地域の支援者を対象とした事業説明会を開催しました。(8月・2回開催・58自治会町内会107人参加) **地域**
- ・区と協定締結している155団体に要援護者名簿を提供しました。(207団体中)
- ・要援護者支援の取組を進める自治会町内会に訪問活動支援物品(地域防災拠点案内標示マグネットシート)を配布しました。

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新しました。(～3月)
- ・土砂災害時に開設する避難場所の環境改善のため、備品等を充実させました。(～3月)
- ・土砂災害時に迅速な広報・注意喚起及び連絡体制の確保ができるよう、即時避難勧告対象世帯向け「音声情報システム」等の適切な通信環境を維持しました。

(5) 地域防災拠点運営強化事業

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行いました。(11月)
- ・防災ライセンス保持者の技術の向上を図るため、資機材取扱に関する研修を実施しました。(12月・南区役所)

(6) 災害医療体制強化事業

災害時においても安定した医療を提供できるよう、南区災害医療物品等研修会(7月・27人)、南区医療救護隊訓練(11月)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図りました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自助共助支援事業における、防災マップを増刷したことによる増【△144万2千円】 ・自助共助支援事業における、防災ガイド作成委託等の見積合わせによる減【36万8千円】
---------------	--

<参考>

緊急時情報システム運用試行事業	予算額	決算額	差引
	55万8千円	43万1千円	12万7千円

・即時避難勧告時に利用している「音声情報システム」を、自治会町内会との連絡及び情報共有にも活用し、効率的・効果的な情報伝達体制を確立し、自助共助の醸成、地域防災力の向上を図りました。

2 健やか

1 健やか元気応援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
	496万6千円	468万5千円	28万1千円
<p>高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援しました。</p> <p>(1) 働き・子育て世代の健康づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育関係者との意見交換(1月・35人参加)や食育普及啓発のイベント(3回・989人参加)、ヘルスマイト便りを発行しました。(7月・7,500部) ・糖尿病の発症や悪化を予防するため糖尿病講座を実施しました。(9月・42人参加) ・生活習慣を見直すための相談を行い、健康習慣定着に向けた風土づくりを行いました。 ・保健活動推進員と協力して地域や団体、企業、施設等へ出張し生活習慣改善のミニ講座を行いました。(6回・93人参加) 地域 ・がんや結核、感染症、熱中症対策、禁煙などの健康情報発信や啓発を行いました。 ・区民が運動習慣を身に付けることができるウォーキング講習会を実施しました。(10月・20人参加) また、保健活動推進員が主催する地域でのウォーキングの会の運営を支援しました。(運営研修会：5月・33人参加、事前研修会：5回・78人参加) <p>(2) 特定健診受診率向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者に直接電話したこと(8月)に加え、特定健診啓発クリアファイルを南なんデーで配布(10月)し受診勧奨しました。 <p>(3) 自殺対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つながり」ができるように区民向け講座(11月・73人参加)を、関係団体や支援者向けに支援者向け講座(12月・46人参加)を実施しました。 ・「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」や、『横浜市自殺対策計画』を踏まえ、関係機関及び区役所各課と連携を取りながら自殺対策に取り組みました。 ・自殺対策強化月間に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施しました。(9月) <p>(4) 障害者サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の健康に関する知識の習得や運動の機会提供のために、南スポーツセンターを会場に講義や運動実技の講座を開催しました。(10回・866人参加) また、重度障害者への対応を目的とした障害者地域作業所へ出張講座は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。 ・障害者・関係者と地域住民がつながる「きっかけづくり」として、南区障がい児者団体連絡会の活動のひとつである「ふれあいコーヒーショップ にこにこみなみ」についてわかりやすく記載したリーフレットの改訂増刷を行いました。 地域 <p>(5) いきいきふれあい南なんデー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図りました。(10/6・大岡健康プラザ・延べ8,610人参加) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・働き・子育て世代の健康づくり推進事業における、生活習慣改善イベント中止(新型コロナウイルス感染症対策)による委託料の残【27万円】 		

2 区民スポーツ支援事業 <重点>	予算額	決算額	差引
	457万8千円	459万9千円	△2万1千円

区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援しました。

また、既存の取組を拡充した区民スポーツ大会や、子どもたちが元オリンピック選手と触れ合うイベント等の開催、つながり清掃ウォーク等の連携を行うとともに、各イベントをつなぐスタンプラリーを実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図りました。

(1) 体育協会支援事業

- ・南区体育協会主催の地域貢献事業（みなっちランニングフェスタ（11月・小学生58人参加）、みなっちスポーツフェスタ2020（2月・753人参加））に補助金を交付しました。

(2) 区民スポーツ参加促進事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、「こども」「地域」「競う」「体験」をキーワードとし、令和元年度を「スポーツでつながる・みなっち YEAR」と位置づけ、年間を通じて区民の機運を盛り上げました。

- ・年間を通じた各イベントを紹介するPRリーフレットを作成しました。 **新規**
- ・PRリーフレットを活用した各イベントをつなぐスタンプラリーを実施しました。（7～2月） **新規**
- ・アスリートによるスポーツ体験教室（10月・小学生43人）、ボッチャY校杯&パラリンピアン講演会（1月・105人）を開催しました。
- ・オリンピック・パラリンピックをテーマとした展示を行いました。（2月）
- ・幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の幼稚園児・保育園児が参加するスポーツイベント「第3回 あつまれ!みなっちげんきっず」を3回実施しました。（6月、中村地区センター・120人、南太田小・192人、南小・136人）
また、区民への機運醸成のため、「あつまれ!みなっちげんきっず」写真展を開催しました。（12月・区役所1階区民ギャラリー、2月・南スポーツセンター「みなっちスポーツフェスタ2020」の中で実施）
- ・【P20 再掲・関連】2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据え、地域の美化活動の輪を推進することを目指し、「つながり清掃ウォーク」を実施しました。（11月）
- ・「みなっちスポーツフェスタ2020」として、既存の取組を拡充した区民スポーツ大会を南スポーツセンター等で開催しました。小学校児童の個人等が参加するジュニア対抗戦などのスポーツ大会や体験会、子どもから高齢者までの参加者全員が楽しめるイベントなどを実施し、スタンプラリーを通じた年間イベントのゴールとしました。（2月）
- ・区民体力づくり事業（南の丘トレイルウォーキング）
- ・アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルコースを設定し、区民の体力づくりを目的とした事業として実施しました。（11月）

3 いきいきシニア健康応援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
	332万円	268万5千円	63万5千円
<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた、南区行動指針を推進しました。</p> <p>また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取り組みを進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めました。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについて「南区行動指針」冊子等を用いて周知しました。 ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に講師を派遣し、開催支援を行う地域包括ケア会議サポート事業について、希望する包括支援センター（1か所）に講師を派遣し、地域ケア会議を実施しました（11月）。 ・区レベル地域ケア会議を開催しました（2月）。 <p>(2) お元気21高齢者推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の普及啓発、介護予防健診や介護予防教室の運営を行うボランティアの養成講座（6～7月・4回）と活動支援を行いました。 ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施（5～10月・8会場・190人参加）するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施しました。 ・かいご予防サポーターが自治会町内会や公園愛護会などの地域の活動者へ働きかけ、連携することで、それぞれの活動の活性化につなげました。また、スポーツ推進委員へ「かいご予防サポーター講習会」等を周知しました。（6月） 地域 <p>(3) 地域ささえあい活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会が行う高齢者の交流事業へ助成を行いました。（4月） ・高齢者等への定期訪問を実施しました。 			
<p>主な増減理由</p>	<p>・地域包括ケアシステム推進事業において、講師派遣希望が当初見込みより少なかったこと及び「南区行動指針」冊子の在庫を活用したこと等による減【40万円】</p>		

4 認知症早期対応・見守り支援事業	予算額	決算額	差引
		156万6千円	131万2千円
<p>認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行いました。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しました。</p> <p>(1) 認知症の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防セミナー及び認知症啓発講演会を開催しました。(5月・299人、11月・217人) ・区民の多く集まるイベントなどで、タッチパネルによる物忘れ相談プログラムを活用し、認知症の早期発見や早期診断につながるきっかけをつくりました。(10月・南なんデー) 新規 ・リーフレット等を活用し、区内の病院や薬局などで配布・掲示を行いました。 ・支援者向けに若年性認知症支援研修を開催しました。(12月・31人) <p>(2) 認知症サポート医との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制づくりを行い、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討・実施しました。 <p>(3) 見守り支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」に登録した高齢者が行方不明となった際に、関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)と協力機関(公共交通機関等20機関)が早期発見に向けて情報を共有し、運用しました。 ・あんしんネットワーク連絡会を実施し(1回)、キャラバンメイトによる商店街やコンビニエンスストア等の協賛機関に対する講座を行うことで、キャラバンメイトとしてのやりがいを感じてもらうとともに、協賛機関の認知症への理解向上を図りました。 地域 <p>(4) 権利擁護に関する講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解とエンディングノートの普及啓発を目的とした「終活入門塾」を開催しました。(9～1月・5回・80人※延べ301人) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れ相談プログラムの実施回数の減【39万1千円】 ・権利擁護に関する講演会におけるエンディングノートの増刷による増【△8万1千円】 		

3 賑わい

1 南区あったかいふるさとまつり事業	予算額	決算額	差引
		1,071万円	1,071万円

それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進しました。

(1) 南まつり補助事業

- 区民相互の交流を促進するとともに、更なる暑さ対策を講じるなど安全面を考慮し、「子どもも大人も楽しめる」まつりとして、蒔田公園にて2日間のイベントを開催する予定でしたが、台風の接近に伴い、1日目(7/27)を中止とし、2日目(7/28)は実施しました。(延べ50,000人)

(2) 南区桜まつり補助事業

- 春の風物詩として多くの方々を楽しめるよう、大岡川プロムナードのライトアップと蒔田公園での当日イベントなどを実施しました。(4月、3月【中止】)
- 来場者の増加に伴い、仮設トイレの増設、水洗化を実施しました。
- 令和2年3月に実施予定だった第30回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。補助金については、中止判断時点までのぼんぼり架設工事費、撤収作業費に充当しました。

【参考2】南区4大まつり

(1) 南区桜まつり(3~4月・蒔田公園) (2) 南まつり(7/28・蒔田公園)

(3) いきいきふれあい南なんデー(10/6・大岡健康プラザ)

(4) 南区文化祭(10/26、27・南センター、11/2、3、4・みなみん(南公会堂))

2 魅力発信・賑わいづくり事業	予算額	決算額	差引
		280万円	248万6千円

区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みました。

(1) 魅力向上の取組

- 区の花「さくら」の普及啓発活動を行いました。
 - * 南区さくらボランティアの会と連携した南まつりでの「さくら木工教室」(7月・約300人参加)
 - * 区内小学校での桜に関する学習会(3月・2校)【中止】
- 大岡川プロムナード再整備工事で伐採した桜の材を区民の皆様に提供する「さくらの記憶」事業を実施しました(2月・応募10件、配付10件)。
- 区の花「さくら」普及啓発グッズを作成し、イベント参加者に配布しました。(付箋、シール各1,000部)
- 「みなみやげ」の認知度向上のため、出張販売の機会を設けました。(文化祭1店舗、新年賀詞交歓会2店舗)

(2) 魅力発信の取組

- 桜の季節に向けて「南区ガイドマップ」の内容を一部更新し、区内地下鉄各駅、区内公共施設等に配架しました。また、京急電鉄の協力により区外の主要駅にも配架しました。(3月・40,000部)
- 京急電鉄と連携し、スタンプラリーの景品の一部として、区の花「さくら」普及啓発グッズを提供しました。(3月・439人応募)
- 南区のビジュアルイメージを発信するための「イメージフォトブック」を更新し、ウェブ上に公開しました。(3月)
- 区内各所に設置されている案内サインの中で、盤面情報が古いものについて撤去を行いました。(3か所)

主な増減理由	・ 魅力発信の取組における案内サイン撤去等の見積合わせによる残【22万1千円】
--------	---

3 みなみ商店街等活性化事業	予算額	決算額	差引
	270万円	264万円	6万円

地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図りました。

(1) 商店街活性化イベント補助事業

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

(2) 商店街等活性化支援事業

- ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」と「商店街フェスタ」を南区商店街連合会との連携で開催しました。
(商店街朝市：10月・いきいきふれあい南なんデーと合同開催、「商店街フェスタ」：2月・スポーツフェスタ、みなみく防災フェスタと合同開催)
- ・商店街のイベント等の応援をいただくために、地域住民（町内会等）や学校、団体から募集する「商店街サポーター」の募集や活動の周知、また、商店街や企業が地域・学校等に対する地域貢献事業をより促進するために広報活動による支援を行い、商店街や企業と地域の連携強化を図りました。 **地域**
- ・商店街プロモーションビデオを市営バス及び市営地下鉄等で放映しました。また、各商店街が制作しているパンフレットについて、各所で配架を行い、市民や来訪者など、広く目に留まるようPRを行いました。 **新規**

4 区民文化活動支援事業	予算額	決算額	差引
	168万3千円	156万4千円	11万9千円

区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援しました。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供するために、子育て支援の団体と読み聞かせ団体との連携を促しました。

(1) 南区文化祭支援事業

- ・文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付しました。（区民創作作品展：10月・南センター・27団体、区民ステージ：11月・みなみん(南公会堂)・18団体、フラ★フェスタ：11月・みなみん(南公会堂)・17団体、みんなの合唱祭：11月・みなみん(南公会堂)・15団体参加）

(2) 南区文化賑わい支援事業

- ・区民の文化活動の活性化または賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行いました。（3団体）

(3) 南区読書活動推進事業

- ・地域の読み聞かせのボランティアや図書館司書などからの情報収集を行い、各団体とのネットワークづくりを進めました。また、読み聞かせ団体と子育て支援団体との連携を促し、双方向の活動として、それぞれのやりがいにつなげました。 **新規** **地域**

主な増減理由	・南区文化賑わい支援事業において、支援対象団体（1団体）のイベントが中止（新型コロナウイルス感染症対策）となったことによる補助金の減【10万7千円】
--------	--

5 みなみ多文化共生推進事業 <重点>	予算額	決算額	差引
	853万5千円	800万1千円	53万4千円

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行いました。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣・チラシの翻訳、また、ごみ集積場所の啓発看板及びチラシを多言語で作成する等、不適正排出の防止を行いました。

(1) 外国人共生支援事業

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行いました。
- ・区内で行われるイベント等への通訳派遣を行いました。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳を行いました。
- ・外国籍等青少年の地域でのつながりの強化や、地域・社会での活躍促進を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会（6月・7団体参加）、外国籍等青少年向けに交流会（8月・33人参加）などを実施しました。 **新規**

(2) 学校を核にした多文化共生事業

- ・外国籍等児童が多い小学校に対して、多文化共生ボランティアを配置し、多文化共生に資する取組を支援しました。また、新たに保護者や地域住民の参加を促し、ボランティアとして関わる契機としました。（対象校：南吉田小、日枝小、石川小、中村小、蒔田小、太田小・5～2月・79回） **地域**

(3) 通訳ボランティア配置事業

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置しました。（中国語：週5回（午後）、英語：週2回（全日））
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」（英語・中国語）を発行し、転入者や希望者へ配布しました。

(4) 多言語による子育て支援事業

- ・乳幼児健診時に通訳を派遣しました。（中国語・英語・タガログ語）
- ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行いました。（中国語・英語・タガログ語・ハンゲル）
- ・保育所利用案内の翻訳を行いました。（中国語・英語） **新規**
- ・放課後キッズクラブ及びはまっ子ふれあいスクールで、お知らせの翻訳や通訳ボランティアの派遣を行いました。（中国語・英語・タガログ語）

(5) 不適正ごみ排出防止対策事業

- ・不適正排出防止ステッカー（英語・中国語）などを作成して配付しました。
- ・外国籍等の住民向け分別教材を作成し、日本語教室などでの出前講座で使用しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳ボランティア配置事業における「南区役所活用ガイド」の翻訳箇所が見込みを下回ったことによる減【41万6千円】 ・外国人共生支援事業におけるみなみラウンジの臨時休館（新型コロナウイルス感染症対策）に伴う委託料の減【4万円】
--------	---

<参考>

「多文化共生コミュニティづくり」のモデル実施 【国際局】	予算額	決算額	差引
	500万円	500万円	—

外国籍等の住民が急増する地域において、多文化共生のまちづくり支援をモデル事業として行いました。

○ 多文化共生コミュニティづくり事業

- ・国際局や教育委員会事務局、横浜市国際交流協会等と連携し、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジのコーディネート機能の強化を通じて、地域で暮らす日本人居住者・外国人居住者のニーズに応じた取組を行い、在住外国人と地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを引き続き支援しました。

6 みなみのみらい計画推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引
		692万2千円	690万5千円
<p>第3期南区地域福祉保健計画を推進するため、計画推進状況概要版の発行やイベントでの計画啓発を行い、区民と協働により計画を推進しました。また、第4期南区地域福祉保健計画策定の準備を進めました。南区運営方針を策定し、広く区民に周知するとともに、南区統計概要を発行し、区政情報の提供をしました。また、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、身近な緑の維持・保全に取り組みました。</p> <p>(1) 南区地域福祉保健計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期地域福祉保健計画（平成28年度～令和2年度）の推進にあたり福祉保健関係者による協議や情報共有を行い、地域福祉保健課題解決に向けた基盤づくりを行いました。 連携を推進するため、南区地域福祉保健計画推進連携会議（愛称：みなっち茶屋）を開催しました。（1月） 区民に広く計画の成果を周知し、地域福祉の良好な活動を共有するため、様々な広報媒体を通じた広報活動を行いました。（5月・1月・2月号・広報よこはま南区版掲載） 第4期地域福祉保健計画（令和3～7年度）の策定にあたり、区民アンケート（5月・3,200人送付・1,601人回答）、関係者アンケート（5月・323団体送付・253団体回答）及び関係者ヒアリング等を実施し、専門家のアドバイスを受けながら現状の課題分析したうえで、「第4期地域福祉保健計画骨子」を作成しました。（3月） 区計画とともにつくる地区別計画は地域の課題や資源など地域の実情にあわせて策定に向けた準備を進めました。策定にあたっては、区役所と関係機関が連携して取り組みました。 <p>(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みなみの福祉保健」を考える懇談会を開催しました。（3月） <p>(3) 区政推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めました。 <p>(4) 統計概要の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計概要「統計で知る みなみ」の作成を行いました。（2月） <p>(5) 温暖化対策普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業、団体が提供する環境に関する出前講座を区内市立小学校に紹介・実施しました。（9月・南吉田小学校・6年2クラス、12月・別所小学校・5年2クラス） 地域のグループ等に対し、緑のカーテン栽培物品を提供しました。（4月・18グループ・218人） また、物品提供時に参加者同士が知識や経験など自由に意見交換できる場を設けることで、温暖化対策とともに、地域等のつながりづくりを図りました。（4月・18グループ・21人） <p>(6) 緑花推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校校庭の芝生の維持管理を実施・支援しました。（5～3月・6校） 普及花「芝桜」をはじめとした花の種・苗等を、区内小・中学校、保育園、公園愛護会へ配付しました。（10月・小学校8校・中学校1校・保育園5園へ花苗等、12月・公園愛護会へサクラソウ苗300株、2月・公園愛護会125団体へコスモス種） 			

<参考>

管理不全空家対応モデル検証事業 【建築局】	予算額	決算額	差引
		1,450万円	823万8千円
<p>所有者等に対する管理適正化の指導を要する空家について、建築局及び18区の連携により、指導強化に向けたモデル事業を実施しました。</p> <p>(1) 経過観察調査、所有者調査のモデル検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険度を把握する経過観察調査、早期指導のための所有者調査を行いました。 <p>(2) 相談体制強化と活用促進のモデル検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 所有者の自主改善を進める総合案内ができる機能の検討や、空家所有者に対する活用補助を行いました。 			
主な増減理由	・経過観察調査等の委託料の入札残【626万2千円】		

4 こども

1 すこやか子育て支援事業 《重点》	予算額	決算額	差引
		648万1千円	639万2千円

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化しました。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止しました。

(1) 赤ちゃん学級

- 主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催しました。(99回・延べ1,257組・2,528人参加) ※3月は感染症防止対策にて中止

(2) 土曜両親教室

- 出産や子育てのポイントを学ぶための両親教室(平日開催)に参加が難しい就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催しました。(3回・68組・138人参加) ※3月は感染症防止対策のため中止

(3) 児童虐待予防事業

- 児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行いました。(24日間実施・延べ78人)
- アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援しました。(5月・区内小学校全児童と関係機関に南区子どもの居場所マップ配布、活動団体交流会:6月・10団体・46人参加、10月・10団体・40人参加)
また、区民ギャラリーにて、子どもの居場所のパネル展示を行い、周知しました。(3月)
- 主任児童委員連絡会と小中学校専任教諭との交流会を実施しました。(11月・主任児童委員22人、専任教諭22人、子どもの居場所ネットワーク10人参加) 地域

(4) 障害児地域交流活動推進事業

- 障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付しました。また、障害理解のための普及啓発を行いました。(サマーフレンド事業:7~8月・4回)

(5) 子育て情報提供事業

- 子育てに関する相談窓口を紹介するリーフレットや、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成しました。
- 地域の子育て支援情報や乳幼児の健康づくりに関する情報を広く提供できるよう、乳幼児健診待合スペースで放映するためのDVDを作製しました。 新規 地域

(6) 保育園応援隊

- ボランティア活動を通じ、地域の方々と保育園児が交流し、児童の健全な育成を図るとともに、地域との連携を深めました。
また、保育園児が高齢者サロンなどを訪問し、地域の高齢者との交流を深めるほか、公園愛護会や地域の方々とふれあい清掃活動を行いました。 地域

(7) みなっち杯えきでん交流事業

- 区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会を開催しました。(11月・清水ヶ丘公園)

2 青少年育成事業	予算額	決算額	差引
		121万円	119万1千円

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付しました。

(1) 青少年活動補助金

- ・異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」(7月)や青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」(12月)に対し、青少年指導員協議会へ補助金を交付しました。
- ・ボイス・オブ・ユースの入選作品の作文集を自治会・町内会長へ配布・紹介し、地域とのつながりを深めました。 **地域**
- ・区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ、補助金を交付しました。(5～7月)

(2) 学校と地域の交流応援事業

- ・小・中学校をはじめとした区内学校の児童・生徒と、学校周辺の地域住民との交流活動を促進するために、学校と地域との調整や、物品の提供を行い、学校による地域貢献と地域による学校支援につなげました。(対象校：永田小、六つ川西小、蒔田中、南が丘中、6～2月)
- ・横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する、「横総生にオファーです」において、生徒へ地域の課題解決策の提案を依頼しました。(10～1月) **地域**

地域の力

1 地域の力応援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引
		466万5千円	329万7千円
<p>地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行いました。</p> <p>(1) 地区別情報収集・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より作成している地域別データ集について、地域における活用例やニーズを踏まえ、データの追加・更新を行いました。(～3月) 南区の地形と年齢別人口や世帯等の各種データを重ね合わせ、地域の特徴を視覚的に把握できる施策検討資料を整えました。(～3月) 新規 <p>(2) 地域連携情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手後継者づくり、他の自治会町内会や学校等との連携による取組などの好事例を地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで積極的に発信しました。(11月、2月) 職員のさらなるレベルアップによる区役所の地域支援機能の充実を目指し、研修を実施しました。 (転入職員向け：5月、9月・50人受講) (区専門職向け：8月・48人受講) (地域支援チーム向け：2回開催 ①5月・97人受講 ②12月・27人受講) <p>(3) コーディネーター派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源発掘・連携支援、地域の居場所づくり支援のためコーディネーターを派遣します。 ア 地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動を促進することを目的に、活動に対する助言等を行う専門家を派遣しました。(1団体・2回派遣) また、地域施設間連携事業(まるごとみなみ)を推進するための情報交換(5月・全体会実施)を行うとともに、地域の人材発掘やつながり作りを進める講座を実施しました。 イ 地域の居場所づくり支援のため、常設型サロンの立ち上げを検討する団体に対し、事業化に向けたプランニング等の支援を行う専門家を派遣しました。(1団体・2回派遣) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター派遣団体数が当初見込より少なかったこと及び支援中の団体への派遣を途中で中止(新型コロナウイルス感染症対策)したことによる委託料の減【120万円】 		

南区地域福祉保健計画推進事業 【P13 再掲】

第4期地域福祉保健計画(令和3～7年度)の策定にあたり、区民アンケート(5月・3,200人送付)、関係者アンケート(5月・323団体送付)及び関係者ヒアリング等を実施し、専門家のアドバイスを受けながら現状の課題分析したうえで、「第4期地域福祉保健計画骨子」を作成しました。(3月)

区計画とともにつくる地区別計画は地域の課題や資源など地域の実情にあわせて策定に向けた準備を進めました。策定にあたっては、区役所と関係機関が連携して取り組みまし

地域の力を応援する視点での事業の工夫 (23事業)

地域

【再掲】

担い手後継者の確保、若い層の地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いつながる場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し合える関係づくりを支援できるよう事業を工夫しました。

- 1 防災啓発事業 (P4 みなみ減災推進事業) ☆
- 2 災害時要援護者取組支援事業 (P4 みなみ減災推進事業) ☆
- 3 働き・子育て世代の健康づくり推進事業 (P6 健やか元気応援事業)
- 4 障害者サポート事業 (P6 健やか元気応援事業) ☆
- 5 かいご予防サポーターと地域の人材の連携 (P8 いきいきシニア健康応援事業)
- 6 見守り支援 (P9 認知症早期対応・見守り支援事業) ☆
- 7 商店街等活性化支援事業 (P11 みなみ商店街等活性化事業)
- 8 南区読書活動推進事業 (P11 区民文化活動支援事業) ☆
- 9 学校を核にした多文化共生事業 (P12 みなみ多文化共生推進事業) ☆
- 10 温暖化対策普及啓発事業 (P13 みなみのみらい計画推進事業)
- 11 児童虐待予防事業 (P14 すこやか子育て支援事業) ☆
- 12 子育て情報提供事業 (P14 すこやか子育て支援事業) ☆
- 13 保育園応援隊 (P14 すこやか子育て支援事業)
- 14 青少年活動補助金(ボイス・オブ・ユース) (P15 青少年育成事業)
- 15 学校と地域の交流応援事業 (P15 青少年育成事業)
- 16 単身世帯向けごみ分別案内配布 (P20 みなみチャレンジごみ減量事業)
- 17 リサイクル現場等への親子見学ツアー (P20 みなみチャレンジごみ減量事業) ☆
- 18 つながり清掃ウォーク (P20 みなみチャレンジごみ減量事業)
- 19 入居者向け町内会加入申込書の配布 (P21 地域住民との連絡調整事業)
- 20 自治会町内会加入促進リーフレット (P21 地域住民との連絡調整事業) ☆
- 21 補助金説明会(相談会)の実施 (P21 地域住民との連絡調整事業) ☆
- 22 幼稚園児等交通安全教室 (P22 地域で守ろう私の安全安心事業)
- 23 防犯啓発活動 (P22 地域で守ろう私の安全安心事業) ☆

☆印は令和元年度予算から事業の工夫を行ったもの

<参考>

南区元気な地域づくり推進事業 (みなみ・地域づくり大学校を含む)	予算額	決算額	差引
	497万9千円	355万2千円	142万7千円
<p>自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援しました。</p> <p>(1) 地域活動補助金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金事業や地域福祉保健計画チャレンジ支援事業の実施にあたり、相談・受付を行い、交付決定を行いました。(7件) また、交付団体による活動発表会を行いました。(2月・みなみん(公会堂)・180人参加) <p>(2) 協働の地域づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題についての地域と行政の意見交換や情報共有を行う場として、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。(5～6月・16地区・844人参加) <p>(3) 地域人材づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(みなみ・地域づくり大学校「寺子屋みなみ」)を実施しました。(10～2月・2地区・166人参加) また、区民が企画する講座等を実施しました。(5～3月) 			
主な増減理由	・補助金交付団体が当初見込みより少なかったことによる残【124万円】		

大規模団地の活性化支援 【温暖化対策統括本部】	予算額	決算額	差引
	100万円	99万円	1万円
<p>SDGs 未来都市の実現を目指し、南永田団地における地域主体のまちづくりを支援しました。</p> <p>○ 大規模団地の活性化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗を活用した拠点づくりの取組を踏まえながら、環境・経済・社会の3つの側面から、地域主体の持続可能なまちづくりに関する企画、検討、調査を行いました。 地域の活性化に向けて、区役所や地域・小学校等関係団体の間での課題の共有や、具体的取組に向けた検討・調整を行いました。 			

大規模団地活性化支援事業 【建築局】	予算額	決算額	差引
	240万4千円	240万4千円	0円
<p>高齢化が進む南永田団地において、空き店舗を活用し新たに開設された拠点の活動を中心とした地域活性化の取組について、建築局等と連携し、総合的な支援を行いました。</p> <p>(1) マンション・団地再生コーディネート支援事業<モデル拡充></p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに開設された拠点について、経営面からの課題の洗い出しや課題解決への道程づくり等をサポートするコーディネーターをモデル的に派遣しました。 <p>(2) 総合再生支援事業<モデル拡充></p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的な団地再生に向けたビジョンの検討を支援するとともに、新たに開設した拠点を中心としたエリアマネジメントを見据え、同拠点を運営するNPO法人に対して補助を行い、事業手法の多角的な検討・試行・検証を行いました。 			

着実に取り組む事業

1 区庁舎環境整備等事業	予算額	決算額	差引
		323万5千円	472万4千円
<p>区民に快適な区役所づくりを推進するため、職員の資質向上を図る人権啓発研修等の実施や区役所業務の改善を行うほか、来庁者にやさしい庁舎環境を整備しました。また、申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図りました。</p> <p>(1) 職員の資質向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革推進委員会等の活動を通じて、区役所業務の改善に努めました。 ・職員向け人権啓発研修、区民を対象とした人権啓発講演会を実施しました。(12月・335人) <p>(2) 区庁舎環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図りました。 ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務等を実施しました。 <p>(3) 市税啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者が集中し混雑、混乱する申告時期に、専門家による申告相談を実施するとともに、窓口での不要な待ち時間を解消するため案内及び相談等を行いました。(2～3月) <p>(4) 庁舎移転に対応したバス乗継広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス乗継策終了後の区庁舎へのアクセスについて、主に区西部地域を対象とした「南総合庁舎アクセスマップ」を作成しました。(32,000部) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・区庁舎環境整備事業における庁舎内サイン検討調査等による委託料の増【△137万1千円】 		

2 広報広聴事業	予算額	決算額	差引
		162万4千円	139万1千円
<p>南区への転入者等に区民生活マップで区政情報を提供しました。また、区民のご意見ご要望を伺い区政・市政に反映させる広聴事業を行いました。</p> <p>(1) 広報・広聴事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民生活マップを発行(3月・13,000部)し、転入者や希望者へ配布しました。 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・区民生活マップ印刷製本費の入札残【20万1千円】 		

3 みなみチャレンジごみ減量事業	予算額	決算額	差引
	464万3千円	434万2千円	30万1千円

横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進しました。

(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業

- ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（①分別徹底（その他の紙）、②食品ロスの削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進しました。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭・各種イベント・キャンペーン）での啓発活動を行いました。
- ・幼稚園・小学校に訪問して出前講座を行いました。
- ・環境事業推進委員と連携し、各地区の集積場所が抱える不適正排出等の課題について情報交換や討議を行う、地区3R夢会議を4地区ずつ計4回開催しました。（9月）
- ・宅建協会横浜南部支部に協力を依頼し、ワンルーム・単身者の物件契約時に入居者に対してごみ分別リーフレットをお渡ししてもらうほか、分別啓発動画の周知によるごみ出しルールの向上に努めました。 地域
- ・環境事業推進委員の活動を紹介し、活動への関心を高めてもらうために、食品ロス削減の取組を紹介する講座を実施するとともに、南本牧最終処分場への親子見学ツアーを開催しました。（8月・19人参加） 新規 地域

(2) つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業

- ・2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据え、地域の美化活動の輪を推進することを目指して、区民や企業等の団体が期間を合わせて日頃の清掃活動と区内一斉清掃を行う「つながり清掃ウォーク」を実施しました。（11月） 地域
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉期の時期に、障害者地域作業所へ委託しました。（4月、10～12月）

(3) 南区環境にやさしい街づくり推進本部会議

- ・区推進本部会議・功労者表彰式を実施しました。（5月・区役所・42人参加）

主な増減理由	・つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業における参加記念品、清掃用品等購入の契約残【39万6千円】
--------	---

4 地域住民との連絡調整事業	予算額	決算額	差引
		344万5千円	320万7千円
<p>地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施しました。</p> <p>(1) 配送業務の委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 区等が自治会町内会に回覧・掲示依頼する印刷物等を指定する場所に配送しました。(8、12月を除く各月) <p>(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。(3月・区役所・21人参加・感謝状贈呈7人・記念品贈呈11人) 自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈しました。(27人) <p>(3) 自治会町内会加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 宅建協会横浜南部支部の協会加入店舗の協力(61店舗)等により、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内を配布し、加入率向上に努めました。【地域】 内容を若い世代や子育て世代向けに一新した加入促進リーフレットを増刷・配布し、加入率向上に努めました。【地域】 ※南区連合町内会長連絡協議会と協力し、若い世代(子育て世代)向けにデザインした加入促進リーフレットを作成し、様々な事業の場で配布することで加入率向上に努めました。 <p>(4) 補助金説明会(相談会)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金について、新しく役員になった方々の負担軽減を図り、且つ、受付から補助金支出までをスムーズに行うため、説明会(相談会)を実施しました。(5月・区役所) 【新規】 【地域】 			
主な増減理由	<p>・自治会町内会長感謝会縮小開催(新型コロナウイルス感染症対策)による会場設営費の減【34万8千円】</p>		

5 地域で守ろう私の安全安心事業	予算額	決算額	差引
		798万円	735万5千円

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全の啓発、放置自転車対策及びスクールゾーン対策、地域の自主的な防犯活動支援及び防犯意識を高める啓発を実施しました。

(1) 交通安全支援事業

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。また、地域の交通安全教室等を支援しました。(4～11月・17校)
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを実施しました。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施しました。(9月・みなみん(南公会堂)) (個人・12人)
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介しました。(10月・玉泉寺幼稚園・51人参加、12月・南若宮幼稚園・41人参加) 地域

(2) スクールゾーン対策事業

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面表示等の新設・補修(7～3月)やスクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(7月)

(3) 放置自転車対策事業

- ・区内鉄道8駅に自転車等放置防止監視員を配置しました。

(4) 防犯啓発活動

- ・被害が増加している振り込め詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域情報誌を活用した啓発などを警察と連携して実施しました。
- ・消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知し、活動の機会の創出を推進しました。

地域 新規

(5) 地域防犯活動支援

- ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザーを配布しました。(3月・19校・約1,500人)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布、みなっち号(防犯パトカー)によるパトロール等を行いました。

(6) 防犯情報提供等

- ・安全安心まちづくり推進連絡会を開催しました。(総会・6月、キャンペーン・10月)
- ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策事業における自転車駐輪監視委託の入札残【96万5千円】 ・防犯啓発活動における特殊詐欺対策の地域情報誌掲載料の増【△21万円】
--------	--

6 食とくらしの衛生支援事業	予算額	決算額	差引
		102万円	97万1千円

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行いました。また、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発、ペット飼育のマナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、小学校での動物ふれあい教室を行いました。さらに、高齢者施設での動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の支援を行いました。

(1) 食品衛生知識・衛生支援

- ・食品関係営業者、ボランティア給食関係者（いわゆる「子ども食堂」運営者等を含む。）、消費者等を対象に講習会、講演会を実施しました。（20回・1,021人参加）
- ・食中毒予防キャンペーン等の啓発イベントを実施しました。
（9月・イトーヨーカ堂別所店・200人参加、10月・南なんデー・200人参加）

(2) 衛生害虫等対策事業

- ・衛生害虫等に関する知識・防除方法について啓発を行うとともに、アシナガバチの巣を自主駆除する方へ器材の貸出を行いました。

(3) 人と動物との共生事業

- ・飼い主のマナーに関するリーフレット等の作成・配布を行いました。（1,112枚）
- ・災害時用ペットカードの作成し、配付を行いました。（79部）
- ・人と動物とのふれあいセミナー（講演会）を開催しました。（9月・64人参加）

(4) 動物ふれあい（動物介在）活動推進事業

- ・ボランティア団体による高齢者施設等への訪問活動の支援（ボランティア動物適性判定会）を行いました。（5月・4組参加（3組合格）、10月・5組参加（4組合格））

資料2

(2) 令和2年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

1 区分別総括表

(単位:千円)

区分	令和2年度予算	令和元年度予算	差引
自主企画事業費	99,134	99,011	123
統合事務事業費	49,047	47,556	1,491
統合事務費	33,323	32,622	701
統合事業費	15,724	14,934	790
区庁舎・区民利用施設管理費	539,837	549,279	▲9,442
合計	688,018	695,846	▲7,828

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

分野	令和2年度予算	説明
重点分野の事業	70,641	
減災	14,867	みなみ減災推進事業<重>
賑わい	32,916	南区あったかいふるさとまつり事業<重> 区民スポーツ支援事業<重> ほか4事業
健やか	16,571	地域福祉保健計画等推進事業<重> 健やか元気応援事業<重> ほか2事業
こども	6,287	すこやか子育て支援事業<重> 青少年育成事業
地域の力	4,240	地域の力応援事業<重> クリーン・グリーンロードみなみ
着実に取り組む事業	24,253	地域で守ろう私の安全安心事業 みなみチャレンジごみ減量事業 ほか4事業
計	99,134	21事業 (事業名の<重>は重点事業)

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区分	令和2年度予算	説明
統合事務費	33,323	各区共通で区の裁量が少ない事務費
統合事業費	15,724	各区共通で区の裁量が少ない事業費
広報よこはま南区版発行事業	7,345	広報よこはま南区版発行に係る経費
専門相談事業	1,361	法律相談等の専門相談に係る経費
スポーツ推進委員支援事業	1,835	スポーツ推進委員の活動に係る経費
青少年指導員事業	3,112	青少年指導員の活動に係る経費
クリーンタウン事業	288	美化推進員の活動に係る経費
消費生活推進員事業	295	消費生活推進員の活動に係る経費
学校・家庭・地域連携事業	750	学校・家庭・地域の連携に係る経費
緊急時情報システム運用事業 ※	558	電話を利用した緊急時情報システムの運用経費
健康づくり月間事業 ※	180	いきいきふれあい南なんデーに対する経費
計	49,047	

※ 令和2年度に局事業から個性ある区づくり推進費へ統合された経費

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区分	令和2年度予算	説明
区庁舎等	133,973	区庁舎・公用車等管理運営費
土木事務所	4,545	土木事務所管理運営費
公会堂	39,294	公会堂管理運営費
地区センター・スポーツ会館	161,194	地区センター(4館)・スポーツ会館管理運営費
青少年施設	7,965	こどもログハウス管理運営費
老人福祉センター	28,724	老人福祉センター(南寿荘)管理運営費
コミュニティハウス	91,070	コミュニティハウス(7館)管理運営費
スポーツセンター	38,467	スポーツセンター管理運営費
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	30,064	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費
その他施設(広場・遊び場)	1,341	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,200	
計	539,837	

令和2年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

令和2年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業については、引き続き「減災」「賑わい」「健やか」「こども」の4つを重点に位置付け、「地域の力」を応援することを取組の礎として、予算編成を進めます。

事業の推進にあたっては、「仕事の基本」を組織全体で大切にしながら、それぞれの職位に応じた役割を果たすとともに、区役所全体でチーム力を発揮します。また、区を取組をしっかりと伝えながら、これからも地域の皆さまと「共感と信頼」を育み、暮らしやすいまちをつくりまします。

重点分野1 減災

大地震、土砂災害などで大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助・共助力を高め、地域防災力の向上を支援します。

【重点事業】 みなみ減災推進事業

重点分野2 賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財など魅力ある資源を生かして、市内外からの誘客に力を入れるとともに、オリンピック・パラリンピック開催にあわせ、区全体がスポーツで盛り上がる取組を進めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

【重点事業】 南区あったかいふるさとまつり事業
 【重点事業】 区民スポーツ支援事業
 魅力発信・賑わいづくり事業
 みなみ商店街等活性化事業
 区民文化活動支援事業
 【重点事業】 みなみ多文化共生推進事業

重点分野3 健やか

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、第4期南区地域福祉保健計画を策定します。

【重点事業】 健やか元気応援事業
 【重点事業】 いきいきシニア健康応援事業
 【重点事業】 地域福祉保健計画等推進事業
 認知症早期対応・見守り支援事業

重点分野4 こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

【重点事業】 すこやか子育て支援事業
 青少年育成事業
 【再掲】 みなみ多文化共生推進事業
 【再掲】 区民スポーツ支援事業

「地域の力」

地域の実情に応じて地域活動を支援することで、区民の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組まします。

地域の力応援事業

クリーン・グリーンロードみなみ

着実に取り組む事業

区役所運営事業

広報広聴事業

みなみチャレンジごみ減量事業

地域住民との連絡調整事業

地域で守ろう私の安全安心事業

食とくらしの衛生支援事業

令和2年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行状況

新規 令和2年度新規事業

1 減災

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です

1 みなみ減災推進事業 <<重点>> 1,486万7千円 <令和元年度 1,692万8千円>
総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上のための防災啓発事業や自助共助支援事業、「共助」の取組である災害時要援護者支援事業、そして災害対応力の向上のための「公助」の取組である災害対策本部強化運営事業、地域防災拠点運営強化事業及び災害医療体制強化事業に取り組みます。

【自助】

(1) 防災啓発事業 160万1千円

- ・区民の自助・共助意識向上のため、「みなみく防災フェスタ」を実施します。(2月)
- ・自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発します。(7月、1回実施)
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援します。(9月・藤の木小 10月・日枝小、大岡小)
- ・子育て世代を対象にした親子向け啓発冊子を新たに作成し、啓発ルートの拡充を図ります。

新規

(2) 自助共助支援事業 242万2千円

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカーの設置の一部を助成し、区民の自助対策を支援します。
 - ア 家具 ・ ・ ・ 件数 : 60件 (第1期・4～7月 第2期・9～12月)
補助対象額 : 8,000円
補助率 : 重点対策地域 10分の9 一般地域 3分の2
 - イ ガラス ・ ・ ・ 件数 : 30件 (8～11月)
補助対象額 : 30,000円 (補助対象面積を3m²→5m²に拡充)
補助率 : 3分の2
 - ウ 感震ブレーカー ・ ・ ・ 件数 : 400件 (4～11月)
補助対象額 : 4,000円
補助率 : 5分の2 (危機管理室の補助 (2分の1) に上乗せし合計で10分の9補助)
- ・南区防災マップをやさしい日本語などのよりわかりやすい内容で作成し、種類を拡充します。新規

【共助】

(3) 災害時要援護者取組支援事業 353万9千円

- ・協定未締結の自治会町内会に対し、協定締結と名簿受領の勧奨を行いました。(7月)
- ・要援護者名簿の作成に向けた同意確認の進捗を進めています。(7月～)
- ・地域の支援者に向けた活動事例、個人情報保護研修用DVDを送付します。(9月)
- ・要援護者支援の取組を進める自治会町内会に活動支援物品を配布します。

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業 447万1千円

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新します。(～3月)
- ・風水害時に開設する避難場所の環境改善のため、備品等を充実させます。(～12月)
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難勧告対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持します。

(5) 地域防災拠点運営強化事業 223万円

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行い、災害に備えます。(～8月)
- ・地域防災拠点訓練の充実を図れるよう、資機材取扱研修を実施します。(～3月)

(6) 災害医療体制強化事業 60万4千円

- ・災害時においても安定した医療を提供できるように、南区災害医療物品等研修会(7月【中止】)、南区医療救護隊訓練(10～12月)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図ります。

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の防災担い手育成事業【総務局事業】（市合計1,943万円） <ul style="list-style-type: none"> ・町の防災組織向けに、区が独自で企画する研修等に必要な予算を配付します。 ・町の防災組織のメンバーを対象にした研修の実施、及びそのフォローアップとして、地域にアドバイザーを派遣し、防災力向上に向けた取組を支援します。 ・市民防災センターで、市民の自助共助推進のための研修を実施します。 ○ 災害時要援護者支援事業【健康福祉局事業】（市合計3,785万円） <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に要援護者の安否確認や避難支援等の活動が円滑に行われるよう災害時要援護者名簿の提供をはじめ、地域での自主的な支えあいの取組を支援します。
----------------------	---

1 南区あったかいふるさとまつり事業 <<重点>>	1,170万円	<令和元年度 1,071万円> 地域振興課
<p>それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進します。</p> <p>(1) 南まつり補助事業 530万円 ・区民相互の交流を促進するとともに、更なる暑さ対策を講じるなど、安全面に考慮し「子どもも大人も楽しめる」まつりとして、蒔田公園にてイベントを実施します。(7月【中止】)</p> <p>(2) 南区桜まつり補助事業 640万円 ・春の風物詩として多くの方が楽しめるよう、大岡川プロムナードのライトアップと蒔田公園での当日イベントなどを実施します。(4月【中止】、3月) ・なお、来場者の増加に伴い、仮設トイレの増設等を実施します。</p> <p>【参考】南区4大まつり (1)南区桜まつり (3～4月) (3)いきいきふれあい南なんデー (10月) (2)南まつり (7月) (4)南区文化祭 (10～11月)</p>		

2 区民スポーツ支援事業 <<重点>>	472万円	<令和元年度 457万8千円> 地域振興課 こども家庭支援課
<p>区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援します。 また、スポーツや、子どもたちがオリンピック・パラリンピックと触れ合うイベント等を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図ります。</p> <p>(1) 体育協会支援事業 30万円 ・南区スポーツ協会主催の地域貢献事業(みなっちランニングフェスタ(11月)、みなっちスポーツフェスタ(2月))に補助金を交付します。</p> <p>(2) 区民スポーツ参加促進事業 415万円 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区民の機運を盛り上げるため、オリンピック種目の放映と競技体験や展示等を一緒に行うコミュニティライブサイトを実施します。 【来年度に延期】 ・幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の幼稚園児・保育園児が参加するスポーツイベント「あつまれ!みなっちげんきっず」を開催します。 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、新たにオリジナルのDVDを作製し、各園で実施します。(11～3月)</p> <p>(3) 区民体力づくり事業(南の丘トレイルウォーキング) 27万円 ・アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルコースを設定し、区民の体力づくりを目的とした事業として実施します。(11月【中止】)</p>		
関連する 主な事業	<p>○ 東京2020大会に向けた機運醸成の取組【市民局から区配】(50万円) ・区民がオリンピック・パラリンピックと触れ合うイベント等を開催します。</p>	

3 魅力発信・賑わいづくり事業

280万円

<令和元年度 280万円>

区政推進課

区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みます。

(1) 魅力向上の取組 30万円

- ・区の花「さくら」の普及啓発活動を実施します。
*南区さくらボランティアの会と連携した南まつりでの「さくら木工教室」(7月【中止】)
- *区内小学校での桜に関する学習会
- ・「南区さくらの名木」に指定した桜の樹木診断費、樹木治療費の一部を助成します。
- ・大岡川プロムナード再整備工事で伐採した桜の材を区民の皆様提供する「さくらの記憶」事業を実施します。(1月)
- ・「みなみやげ」の認知度向上に努めます。

(2) 魅力発信の取組 250万円

- ・桜の時期を捉え、「南区ガイドマップ」の内容を一部更新し、区内鉄道各駅、区内公共施設等に配架します。(3月)
- ・「南区ガイドマップ」をウェブで閲覧できるよう取り組みます。
- ・民間企業と連携したイベントを検討し、効果的な集客につなげます。

関連する
主な事業

- 「Garden Necklace YOKOHAMA 2020」18区連携事業【環境創造局から区配】(200万円)
- 街路樹管理事業【道路局から区配】(市合計17億3,653万円)
- 街路樹による良好な景観の創出・育成【環境創造局から区配】(市合計5億7,800万円)
・これらの事業の一環として、「南区さくら保全・活用計画」に基づき、大岡川プロムナードの歩道を再整備するとともに、樹木診断結果に基づき、状態の悪い桜の更新も行います。

4 みなみ商店街等活性化事業

270万円

<令和元年度 270万円>

地域振興課

地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図ります。

(1) 商店街活性化イベント補助事業 50万円

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

(2) 商店街等活性化支援事業 220万円

- ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」(10月【中止】)及びみなみく防災フェスタと合同で行う「商店街フェスタ」(2月)を南区商店街連合と連携して開催します。
- ・商店街のイベント等の応援をいただくために地域住民(町内会等)や学校、団体から募集する「商店街サポーター」の募集や活動の周知、また、商店街や企業が地域・学校等に対する地域貢献事業をより促進するために広報活動による支援を行い、商店街や企業と地域の連携強化を図ります。
- ・商店街プロモーションビデオ及び各商店街が制作しているパンフレットについて、各所での放映、配架を行い、市民や来訪者など、広く目に留まるようPRを行います。

関連する
主な事業

- 横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から区配】(市合計2,800万円)
・商店街が実施する地域とのふれあいや賑わいを創出するイベントを支援します。

5 区民文化活動支援事業

168万3千円

〈令和元年度 168万3千円〉

地域振興課

区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援します。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供するために、子育て支援の団体と読み聞かせ団体との連携を促します。

(1) 南区文化祭支援事業 105万円

- ・区文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付します。(10～11月【中止】)

(2) 南区文化賑わい支援事業 50万円

- ・区民の文化活動の活性化または賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行います。(3団体)

(3) 南区読書活動推進事業 13万3千円

- ・第二次横浜市読書活動推進計画の重点項目を踏まえて南区民読書活動推進目標を見直し、区内における読書活動を推進するため、地域の読み聞かせボランティアや図書館司書などから情報収集を行い、各団体のネットワークづくりを進めます。また、読み聞かせ団体と子育て支援団体との連携を促し、双方向の活動としてそれぞれのやりがいにつなげます。

6 みなみ多文化共生推進事業 <重点>

931万3千円

<令和元年度 853万5千円>

地域振興課 区政推進課 こども家庭支援課

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行います。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣・チラシの翻訳、また、ごみ集積場所の啓発看板及びチラシを多言語で作成する等、不適正排出の防止を行います。

(1) 外国人共生支援事業 209万8千円

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行います。
- ・区内で行われるイベント等への通訳派遣を行います。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳を行います。
- ・外国籍等青少年の地域でのつながりの強化や、地域・社会での活躍促進を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会、外国籍等青少年向けに交流会などを実施します。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたイベントの場を活用するなど、外国籍等の青少年の地域におけるつながりの強化や活躍促進を進めます。【来年度に延期】

(2) 学校を核にした多文化共生事業 107万円

- ・外国籍等児童が多い小学校に対して、多文化共生ボランティアを配置し、多文化共生に資する取組を支援します。特に、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した、外国文化の紹介を行います。また、新たに保護者や地域住民の参加を促し、ボランティアとして関わる契機とします。(対象校：南吉田小、日枝小、石川小、中村小、蒔田小、太田小)(8月～)
- ・ボランティア初心者向けの研修会を実施します。(10月・日本語・英語・中国語で実施) **新規**

(3) 通訳ボランティア配置事業 378万円

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置します。(中国語:週5回(午後)、英語:週2回(全日))【4月から休止中】
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)を発行し、転入者や希望者へ配布します。

(4) 多言語による子育て支援事業 210万5千円

- ・乳幼児健診時に通訳を派遣します。(中国語・英語・タガログ語)(4～6月【中止】、7月再開)
- ・乳幼児健診DVDの外国語版を作製します。(中国語・英語) **新規**
- ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行います。(中国語・英語・タガログ語・ハングル)
- ・保育所利用案内の翻訳を行います。(タガログ語・ハングル)
- ・放課後キッズクラブのお知らせの翻訳を行います。(中国語・英語・タガログ語等)

(5) 不適正ごみ排出防止対策事業 26万円

- ・不適正排出防止ステッカー(英語・中国語)などを作成して配付します。
- ・外国籍等の住民向け分別教材を作成し、日本語教室などでの出前講座で使用します。

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応【国際局事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍課及び保険年金課窓口にタブレット端末を設置し、必要に応じて、テレビ電話通訳(英語・中国語)による案内を行います。 ○ 日本語支援推進事業【教育委員会事務局事業】(市合計2億210万4千円) <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への早期適応を図るため、国際教室や日本語教室での指導、母語支援ボランティア、通訳ボランティアの派遣などを行うとともに、日本語支援拠点施設「ひまわり」においてプレクラスや学校ガイダンス、就学前教室などを実施します。
----------------------	--

1 健やか元気応援事業 《重点》 553万5千円 〈令和元年度 496万6千円〉
福祉保健課 高齢・障害支援課 保険年金課

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援します。

(1) 健康づくり推進事業 153万6千円

- ・生活習慣病の発症や悪化を予防するための講座を実施します。(1月)
- ・生活習慣改善につなげるための相談やイベントでの啓発を通じて健康習慣定着に向けた風土づくりを行います。
- ・保健活動推進員が主催する地域のウォーキング開催の運営を支援します。また、保健活動推進員と協力して地域会場で生活習慣改善のミニ講座などを行います。(下半期に実施予定)
- ・食育関係者との意見交換(1月)や食育普及啓発に関する展示(6月【中止】、11月)や、ヘルスマイト便りを発行(9月・7,000部)します。
- ・がん、結核・HIV、熱中症対策、禁煙・受動喫煙などの健康情報発信を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症の啓発を強化します。

(2) 特定健診受診率向上事業 27万9千円

- ・特定健診未受診者に直接電話することに加え、医師会・薬剤師会などと連携を図りつつ、商店街ほか様々な事業者団体に出向き受診を勧奨します。(5～10月【中止】)

(3) 自殺対策事業 65万円

- ・区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つながり」ができるように、区民を対象とした人権啓発講演会と共催して、自殺対策事業の更なる普及啓発を図ります。(1月)
- ・南区職員全員がゲートキーパーになることを目標に、ゲートキーパー研修等受講者に、『南区ゲートキーパーカード』を配付し、職員への普及啓発を図りました。(6月～7月・4回・88人参加) 新規
- ・自殺対策強化月間(9月、3月)に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施します。

(4) 障害者サポート事業 65万円

- ・障害者の健康に関する知識の習得や運動の機会提供のために、講義や運動実技の講座を開催します。新たに歯周病予防についての啓発にも取り組みます。 新規
(障害者けんこう講座：4～7月【中止】、9月から7回予定 健康管理普及啓発講座：2回)
- ・障害者・関係者と地域住民がつながる「きっかけづくり」として、障害者施設・作業所の場所や活動内容を記載したリーフレットを内容更新・改訂し、配布を行います。

(5) いきいきふれあい南なんデー 242万円

- ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図ります。(10月【中止】)

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疾病の重症化予防事業【健康福祉局から区配】(市合計899万4千円) <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病等の疾病の重症化予防のため、食生活相談の機会の拡充や健診結果を生活習慣改善に活用する集団支援事業を実施します。 ○ 歯科口腔保健関係事業(健康横浜21推進事業)【健康福祉局から区配】 (市合計1,383万8千円) <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病予防やオーラルフレイル対策などについて集団健康教育や研修などにより幅広く歯科口腔保健に取り組みます。
--------------	--

2 地域福祉保健計画等推進事業 《重点》

653万円

〈令和元年度 489万円〉

福祉保健課

第3期南区地域福祉保健計画を推進するため、計画推進状況概要版の発行やイベントでの計画啓発を行い、区民と協働により計画を推進します。また、第4期南区地域福祉保健計画を策定します。

(1) 南区地域福祉保健計画推進事業 648万円

- ・第3期地域福祉保健計画（平成28年度～令和2年度）の推進にあたり福祉保健関係者による協議や情報共有を行い、地域福祉保健課題解決に向けた基盤づくりを行います。
- ・福祉保健に関わる団体の連携を推進するため、南区地域福祉保健計画推進連携会議（愛称：みなっち茶屋）を開催します。
- ・第4期地域福祉保健計画（令和3年度～7年度）について、令和3年10月に向けて計画の策定を進めます。 **新規**
- ・区（全体）計画については、区民意見募集を行い広く区民の声を反映させます。 **新規**
- ・地区別計画については、関係機関や地域の方の意見を伺いながら策定を進めます。
- ・様々な広報媒体を通じて、計画の進捗や第4期計画の策定状況、地域福祉の活動事例を共有します。

(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業 5万円

- ・南区の保健・医療・福祉等の連携強化等を目的として、関係者や団体から助言をいただく懇談会を開催します。

関連する
主な事業

- 地域福祉保健計画推進事業【健康福祉局から区配】（市合計1,476万円）
 - ・第4期横浜市地域福祉保健計画を推進します。また、第3期区計画の推進支援及び第4期区計画（計画期間令和3年度～7年度）の策定を支援します。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針を推進します。

また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取り組みを進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めます。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業 53万円

- ・地域包括ケアシステムについて、事業説明資料等を作成し周知します。
- ・次年度実施の南区行動指針の改定（区アクションプランに名称変更予定）に向け、準備を進めます。
- ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議について、地域分析を深める地区に講師を派遣する等の開催支援を行うとともに、区レベル地域ケア会議の開催を行います。

(2) お元気21高齢者推進事業 105万9千円

- ・介護予防の普及啓発、介護予防健診や介護予防教室の運営を行うボランティアの活動支援を行います。
- ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施します。
- ・かいご予防サポーターが自治会町内会や公園愛護会などの地域の活動者へ働きかけ、連携することで、それぞれの活動の活性化につなげていきます。

(3) 地域ささえあい活動推進事業 163万1千円

- ・地区社会福祉協議会が行う高齢者の交流事業へ助成を行いました。（4月）
- ・高齢者等への定期訪問を実施します。

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から区配】（60万円） ○ 介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】（市合計3,316万6千円） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催を通して普及啓発します。 ○ 地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】（市合計909万9千円） <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。 ○ 元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】（市合計1,265万2千円） <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動（元気づくりステーション）について、新規立ち上げ等の支援を行います。 ○ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から区配】（市合計1,634万3千円） <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報をもとに民生委員に提供し、高齢者等への定期訪問につなげていきます。
--------------	---

認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行います。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指します。

(1) 認知症の啓発 85万4千円

- ・地域ケアプラザ等身近な場所で認知症啓発講演会を実施します。(下半期【中止】)
- ・支援者を対象とした若年性認知症支援研修、介護予防セミナー及び認知症キャラバンメイト支援のための研修会を実施します。(7月、9月、2月)
- ・3密を回避した中での新たな啓発に取り組みます。

(2) 認知症サポート医との連携 5万9千円

- ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制づくりを行い、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討・実施します。

(3) 見守り支援 22万7千円

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)や協力機関(公共交通機関)と運用していきます。(2月に連絡会を開催予定)
- ・あんしんネットワーク連絡会を実施し、キャラバンメイトによる商店街やコンビニエンスストア等の協賛機関に対する講座を行うことで、キャラバンメイトとしてのやりがいを感じてもらおうと共に、協賛機関の認知症への理解向上を図ります。

(4) 権利擁護に係る講演会の開催 14万6千円

- ・広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解とエンディングノートの普及啓発を目的とした「講演会」を開催します。(下半期【中止】)

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症支援事業【健康福祉局事業】(市合計9,500万5千円) <ul style="list-style-type: none"> ・認知症キャラバンメイト・サポーターの養成を進めます。また、認知症早期発見モデル事業を実施します。 ・高齢者虐待防止・早期発見のため、関係機関の連携支援体制を構築します。 ・認知症の人の行方不明時の早期発見と身元不明対策を目的とした見守りシールを作成します。 ○ 市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】(市合計1,285万6千円) <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最後まで自分らしく生きることができるよう、エンディングノートを作成し、活用のための講座を開催します。
----------------------	--

1 すこやか子育て支援事業 <<重点>>

497万6千円

<令和元年度 648万1千円>

こども家庭支援課

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。

- (1) 赤ちゃん学級 48万3千円
 - ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催します。(4～6月【中止】、7月から各7回予定)
- (2) 土曜両親教室 14万6千円
 - ・出産や子育てのポイントを学ぶための両親教室(平日開催)に参加が難しい就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催します。(7月、9月、12月、3月)
- (3) 児童虐待予防事業 211万1千円
 - ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行います。
 - ・アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援します。また、子どもの居場所マップの配布や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知します。
 - ・地域で子どもや養育者を見守り、児童虐待を未然に防ぐために、子育て支援に取り組む支援者を対象に「支援者スキルアップ研修」を実施します。
- (4) 障害児地域交流活動推進事業 35万円
 - ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付します。
- (5) 子育て情報提供事業 95万円
 - ・子育てに関する相談窓口を紹介する「子ども・家庭支援相談リーフレット」や、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成します。
- (6) 保育園応援隊 23万6千円
 - ・ボランティア活動を通じ、地域の方々と保育園児が交流し、児童の健全な育成を図るとともに、地域との連携を深めます。
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、各園で花苗の手入れや、公園の清掃などの屋外活動を中心に行い、地域に貢献します。(6月～)
- (7) みなっち杯えきでん交流事業 70万円
 - ・区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会を予定していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、年長児による共同作品の制作・展示による新たな形式で実施します。(11～12月)

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童虐待啓発地域連携事業【こども青少年局から区配】(40万円) <ul style="list-style-type: none"> ・地域における児童虐待防止と関係機関の対応力の向上をめざし、会議・研修・ネットワーク強化や啓発活動に取り組みます。 ○ 母子保健コーディネーターの配置【こども青少年局事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの機能として、区福祉保健センターに母子保健コーディネーターを配置し、主に妊娠届出時から産後4か月までの継続した相談対応や母子保健サービスの利用紹介等を行うことで、妊婦や養育者の不安や負担の軽減を図ります。 ○ 寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から区配】(537万4千円) <ul style="list-style-type: none"> ・養育環境に課題のある小・中学生を対象にして、基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。
----------------------	--

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付します。

(1) 青少年活動補助金 81万円

- ・異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」(7月【中止】)や青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」(11月)に対し、青少年指導員協議会へ補助金を交付します。
- ・ボイス・オブ・ユースの入選作品の作文集を自治会・町内会長へ配布・紹介し、地域とのつながりを深めます。
- ・ボイス・オブ・ユースのテーマに「東京2020オリンピック・パラリンピック」を追加し、子どもたちの夢や希望を育むことを検討します。【来年度に延期】
- ・区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ、補助金を交付します。(5～7月【中止】)

(2) 学校と地域の交流応援事業 50万1千円

- ・地域との調整等により、区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を支援します。
- ・学校・地域コーディネーターの活動促進のため、連絡会を開始するとともに、地域との連携に関する研修を行うほか、希望に応じて、アドバイザーを派遣します。(アドバイザー派遣：7月～・別所小・永田台小 / 連絡会・研修：9月)
- ・横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する「横総生にオファーです」において、生徒へ地域の課題解決策の提案を依頼します。(10～1月)

<p>1 地域の力応援事業 <<重点>></p>	<p>374万円 <<令和元年度 466万5千円>> 地域振興課 区政推進課 福祉保健課 高齢・障害支援課</p>
<p>地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行います。</p> <p>(1) 地区別情報収集・提供事業 180万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より作成している地域別データ集について、地域における活用例やニーズを踏まえ、データの追加・更新を行います。(～3月) 南区の地形と年齢別人口や世帯等の各種データを重ね合わせ、地域の特徴を視覚的に把握できる施策検討資料を整えます。(～3月) <p>(2) 地域連携情報発信事業 100万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手後継者づくり、他の自治会町内会や学校等との連携による取組などの好事例や地域で活動をしている方について情報収集し、地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで積極的に発信します。 区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け及び区専門職(社会福祉職・保健師)向け研修を実施します。(地域支援チーム向け：7～8月・82人) <p>(3) コーディネーター派遣事業 94万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源発掘・連携支援、地域の居場所づくり支援のためコーディネーターを派遣します。 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動を促進することを目的に活動に対する助言等を行う専門家を派遣します。(2団体・計8回派遣予定) また、地域施設間連携事業(まるごとみなみ)を推進するための情報交換を行うとともに、地域の人材発掘やつながり作りを進めます。 イ 地域の居場所づくり支援のため、常設型サロンの立ち上げなどを検討する団体に対し、事業化に向けたプランニング等の支援を行う専門家を派遣します。 	

<p>2 クリーン・グリーンロードみなみ</p>	<p>新規</p>	<p>50万円 <<令和元年度 一円>> 南土木事務所</p>
<p>地域の身近な道路の清掃、美化活動を行うハマロード・サポーターと協働を進め、区民の大切な財産である街路樹を適切に維持管理する手法の検討や対策を実施していきます。</p> <p>(1) ハマロード・サポーター協働事業 50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 植樹帯エリアでの主に低木の捕植など地域の実情に寄り添った管理の必要性を把握して対応を進めます。 2年度予算では、低木の現状把握を調査委託にて実施し、良好な景観をもたらす樹木や草花の植栽を活動団体と協働して対応していきます。 		

<参考>

南区元気な地域づくり推進事業 (みなみ・地域づくり大学校を含む)	381万9千円	【市民局】 地域振興課 福祉保健課
<p>自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援します。</p> <p>(1) 地域活動補助金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金事業や地域福祉保健計画チャレンジ支援事業を実施します。また、交付団体による活動発表会を行います。(2月) <p>(2) 協働の地域づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題についての地域と行政の意見交換や情報共有を行う場として、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援します。【中止】 <p>(3) 地域人材づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(みなみ・地域づくり大学校「寺子屋みなみ」)や区民が企画する講座等を実施します。(11~3月) 		

大規模団地活性化支援事業	224万円(参考:総事業費359万円)	【建築局】 区政推進課 福祉保健課 高齢・障害支援課
<p>高齢化が進む南永田団地において、空き店舗を活用し新たに開設される拠点の活動を中心とした地域活性化の取組について、建築局等と連携し、総合的な支援を行います。</p> <p>(1) マンション・団地再生コーディネーター支援事業<モデル拡充></p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点開設後の経営面からの課題の洗い出しや課題解決への道程づくり等をサポートするコーディネーターをモデル的に派遣します。 <p>(2) 総合再生支援事業<モデル拡充></p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的な団地再生に向けたビジョンの検討を支援するとともに、拠点を中心としたエリアマネジメントを見据え、同拠点を運営するNPO法人に対して補助を行い、事業手法の多角的な検討・試行・検証を行います。 		

管理不全空家対応モデル検証事業	市合計3,944万5千円(参考:総事業費5,055万円)	【建築局】 区政推進課
<p>所有者等に対する管理適正化の指導を要する空家について、建築局及び18区の連携により、指導強化に向けたモデル事業を実施します。</p> <p>(1) 現場調査、所有者調査、専門家派遣のモデル検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険度を把握する現場調査、早期指導のための所有者調査や複雑な課題に対応する専門家派遣を行います。 <p>(2) 相談体制強化と活用促進のモデル検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 所有者の自主改善を進める総合案内窓口の運営、空家所有者に対する活用補助や啓発活動を行います。 <p>(3) 管理不全空家等の指導情報等管理システム整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定空家の認定拡大に伴い関連区局間で情報を一元化し対応する必要があるため、指導情報等管理システムを整備します。 		

1 区役所運営事業

490万6千円

〈令和元年度 526万7千円〉

総務課 税務課 区政推進課

区民に快適な区役所づくりを推進するため、人権啓発研修等の実施や改革推進委員会の活動、職員表彰を通じ、職員の意識啓発や区役所のチーム力向上を図るとともに、来庁者にやさしい庁舎環境を整備します。また、市税の申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図るほか、南区統計概要を発行し、区政情報の提供を行います。さらに、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、身近な緑の維持・保全に取り組みます。

(1) 人権啓発推進等事業 49万4千円

- ・区民を対象とした人権啓発講演会、職員向け人権啓発研修を実施します。(7～1月)
- ・改革推進委員会や職員表彰等の取組を通じて、区役所のチーム力向上を図ります。

(2) 庁舎環境整備事業 180万円

- ・必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図ります。
- ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務等を実施します。

(3) 市税啓発事業 78万円

- ・来庁者が集中し混雑する申告期間に、専門家による申告相談を実施するとともに、要件ごとの窓口スムーズに案内することで、混乱防止、待ち時間の縮小等、申告体制の充実を図ります。(2～3月)

(4) 区政推進事業 69万円

- ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めます。

(5) 統計概要の作成 56万円

- ・統計概要「統計で知る みなみ」の作成を行います。(3月)

(6) 温暖化対策普及啓発事業 19万2千円

- ・民間企業、団体が提供する出前講座を区内市立小学校に紹介・実施します。
 - ・希望する地域のグループ等に対し、緑のカーテン栽培物品を提供しました。(4月・15グループ・211人)
- また、物品提供時に参加者同士が知識や経験など自由に意見交換できる場を設けることで、温暖化対策とともに地域等のつながりづくりを図ります。(4月【中止】)

(7) 緑花推進事業 39万円

- ・普及花「芝桜」をはじめとした花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園、公園愛護会へ配付します。
- 小中学校・保育園へ花苗等 (10月)、公園愛護会へサクラソウ苗300株 (12月)、公園愛護会125団体へコスモス種 (2月)

関連する
主な事業

○ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業 【環境創造局から区配】
(市合計1,718万円)

2 広報広聴事業	162万4千円	〈令和元年度 162万4千円〉
区政推進課		
<p>南区への転入者等に区民生活マップで区政情報を提供します。また、区民のご意見ご要望を伺い区政・市政に反映させる広聴事業を行います。</p> <p>(1) 広報・広聴事業 162万4千円 ・区民生活マップを発行し、転入者や希望者へ配布します。(3月)</p>		

3 みなみチャレンジごみ減量事業	496万1千円	〈令和元年度 464万3千円〉
地域振興課		
<p>横浜市一般廃棄物処理計画(ヨコハマ3R夢プラン)の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進します。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業 260万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域でチャレンジ!ごみ減量プロジェクト」としてモデル地区を4地区設け、2つの重点分野(①プラスチック対策、②食品ロス削減)を設定し、地域住民のごみ減量行動のきっかけとなる取組を推進します。 ・区民の集まる場所(スーパーの店頭・各種イベント・キャンペーン)での啓発活動を行います。 ・幼稚園・小学校に訪問して出前講座を行います。 ・地区3R夢会議を4地区ずつ計4回開催します。(9月【中止】) ・単身者向け賃貸住宅の居住者にごみ出しルールを広めるため、神奈川県宅建協会加入店舗を通じてリーフレット等広報物の閲覧を促進します。 ・3R夢プランの具体的な取組を紹介するため、リサイクル現場等への親子見学ツアーを開催します。【中止】 <p>(2) つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業 221万9千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催にあたり、地域の美化活動の輪を推進することを目指して、区民や企業等の団体が日頃の清掃活動と区内一斉清掃を行う「つながり清掃ウォーク」を実施します。(5月、11月【中止】) ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施します。 ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉期の時期に、障害者地域作業所へ委託します。(4月、10~12月) <p>(3) 南区環境にやさしい街づくり推進本部会議 13万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区推進本部会議を実施しました(5月・書面表決) 		
関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3R夢プラン目標達成に向けた取組【資源循環局事業】(市合計3,341万2千円) ・3R夢プランの普及啓発を進めるとともに、環境学習を推進します。 ○ クリーンタウン横浜の推進【資源循環局事業】(市合計1億8,601万円) ・「清潔で安全な街・ヨコハマ」の実現を目指し、美化推進重点地区で歩道清掃を実施し、たばこのポイ捨て防止など街の美化を推進するための取組を進めます。 	

4 地域住民との連絡調整事業

348万円

<令和元年度 344万5千円>

地域振興課

地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。

- (1) 配送業務の委託 171万7千円
 - ・区等が自治会町内会に回覧・掲示依頼する印刷物等を指定する場所に配送します。(8月、12月を除く各月)
- (2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施 108万3千円
 - ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈します。
 - ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。(3月)
- (3) 自治会町内会加入促進 65万円
 - ・宅建協会横浜南部支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めます。(75店舗に依頼送付)
 - ・若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを増刷・配布し、将来の担い手確保につなげます。
- (4) 補助金説明会(相談会)の実施 3万円
 - ・地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金について、新しく役員になった方々の負担軽減を図り、且つ、受付から補助金支出までをスムーズに行うため、説明会(相談会)を実施しました。(6月・区役所)

<p>関連する 主な事業</p>	<p>○ 地域活動推進費【市民局から区配】(市合計8億6,128万円(自治会町内会分))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む市・区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。
----------------------	--

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全の啓発、放置自転車対策及びスクールゾーン対策、地域の自主的な防犯活動支援及び防犯意識を高める啓発を実施します。

(1) 交通安全支援事業 155万2千円

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」については、各校の要望により延期し開催予定です(10月)。また、地域の交通安全教室等を支援します。
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行います。
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施します。(9月)
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介します。

(2) スクールゾーン対策事業 141万1千円

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面表示等の新設・補修(7～3月)やスクールゾーン対策組織に助成金を交付します。(7月)

(3) 放置自転車対策事業 156万6千円

- ・区内鉄道8駅に自転車等放置防止監視員を配置します。

(4) 防犯啓発活動 40万円

- ・被害が増加している特殊詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域紙を活用した啓発などを警察と連携して実施します。
- ・消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知することで、活動の機会を増やすことにつなげます。

(5) 地域防犯活動支援 321万4千円

- ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザーを配布します。(3月)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布、みなっち号(防犯パトカー)によるパトロール等を行います。

(6) 防犯情報提供等 5万円

- ・安全で安心なまちづくりを推進するため、南警察署をはじめ防犯協会や消費生活推進員など関係機関と連携し、啓発イベントを行います。
- ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信します。

関連する
主な事業

○ 自転車マナーアップ事業【道路局から区配】(654万4千円)

- ・自転車等放置防止監視員を配置し、交通の妨げとなる放置自転車の防止活動を行います。また、自転車のマナーアップに関する啓発活動を行います。

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行います。また、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発、ペット飼育のマナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけを行います。さらに、高齢者施設での動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の支援を行います。

(1) 食品衛生知識・衛生支援 47万2千円

- ・ボランティア給食関係者（いわゆる「子ども食堂」運営者等を含む。）、消費者等を対象に啓発チラシを配布し、食中毒予防に努めます。
- ・食中毒予防キャンペーン等で、食品衛生に関するチラシや物品を配布し、啓発を行います。（7～11月）

(2) 衛生害虫等対策事業 2万円

- ・衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行います。

(3) 人と動物との共生事業 42万2千円

- ・飼い主のマナーに関するチラシ等の作成・配布を行います。
- ・災害時用ペットカードの配布を行います。
- ・人と動物とのふれあいセミナー（講演会）を開催します。（9月【中止】）

(4) 動物ふれあい（動物介在）活動推進事業 17万5千円

- ・ボランティア団体による高齢者施設等への訪問活動の支援（ボランティア動物適性判定会）を行います。（5月、10月【中止】）

令和2年度 南区個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）現年度見直しについて

現年度事業見直し実施方針に基づき、全事業を対象に事業点検を実施しました。
見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等を実施します。

自主企画事業費	9,913万4千円
見直し金額	▲2,600万円
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	2,600万円

主な見直し内容	▲2,600万円
新型コロナによるイベント等の中止	▲1,650万円
<ul style="list-style-type: none"> ・南区4大まつりの中止 ・スポーツ関連イベントの中止 ・つながり清掃ウォークの中止 	
その他	▲950万円
<ul style="list-style-type: none"> ・通訳ボランティア配置の休止 ・地域福祉保健計画策定延期 	

新型コロナウイルス感染症対策等への活用	2,600万円
1. コロナ禍における事業展開に係る費用	1,900万円
<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していたイベントの代替策の工夫等 ・コロナ禍における商店街等への支援 ・子どもの居場所運営団体へのフードパントリー支援 	
2. 消毒液、非接触体温計等の購入や感染対策経費	500万円
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にかかる感染症防止対策物品の購入 ・避難場所等における感染症対策物品の配備 ・区庁舎内における感染症予防対策 	
3. 新しい生活様式を踏まえた環境整備	100万円
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体でリモート会議等を実施するために必要な機材の購入等 	
4. その他	100万円
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策関連情報の様々な広報 	

(3) 令和3年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けて の考え方について

区民の皆さまとの協働のもとで、
「あったかい」南区をつくります。

令和3年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費については、「減災」「賑わい」「健やか」「子ども」を重点として、変化する社会情勢の中にあっても、地域の元気やくらしの安全・安心などにつながる取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った予算編成を進めます。

事業の推進にあたっては、「仕事の基本」を組織全体で大切にしながら、それぞれの職位に応じた役割を果たすとともに、区役所全体でチーム力を発揮します。また、区取組をしっかりと伝えながら、これからも地域の皆さまと「共感と信頼」を育み、暮らしやすいまちをつくります。

令和3年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

減災

大地震、台風などの被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助力と地域の共助力を高めるとともに、危機管理体制の強化に向けた取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財などの資源を生かして、市内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、区民のスポーツへの関心を高めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

健やか

食育の推進、生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、感染症予防への取組を継続します。

子ども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

地域の力・着実な取組

区民の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組むとともに、交通安全・防犯対策、ごみの減量や温暖化対策などの取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った区役所づくりを進めます。